



2023年3月22日

各位

会社名 チエル株式会社  
代表者名 代表取締役会長 川居 睦  
(証券コード 3933 東証スタンダード市場)  
問合せ先 取締役 若松 洋雄  
(TEL. 03-6712-9721)

### 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年3月22日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、2022年5月13日付「2022年3月期決算短信」において公表いたしました2023年3月期（2022年4月1日～2023年3月31日）の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

#### 1. 当期の連結業績予想数値の修正（2022年4月1日～2023年3月31日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 連結当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	4,200	680	680	480	64.07
今回修正予想（B）	3,850	600	600	400	53.44
増減額（B－A）	△350	△80	△80	△80	△10.63
増減率（％）	△8.3	△11.8	△11.8	△16.7	－
（参考）前期連結実績 （2022年3月期）	4,095	592	647	472	31.1

#### 2. 修正の理由

学習部門は、小学校・中学校市場向けサービスの契約負債が利用期間に応じて振り替わることで、前期に引き続き安定的な収益基盤を維持しており、期初予想の通り堅調に推移しております。

進路部門は、新型コロナウイルス感染症による影響が弱まり経済社会活動の正常化が進むこと及び新規事業への投資も積極的に行っていることから増収を見込んでおりましたが、依然として進路相談会による収益はコロナ禍前の水準までは回復しておらず、新規事業による収益向上も道半ばであることから、売上高は前回発表予想を下回る見込みとなりました。しかしながら、コスト見直しの取り組みの結果として、進路部門の利益水準は期初予想を上回る見込みとなります。

情報基盤部門は、新規製品・サービスの立ち上げに取り組む期と位置づけ、収益は前期と同等の水準を見込んでおりましたが、入札案件の不調や半導体調達難に起因する納品・構築の遅延が発生した他、新規製品・サービスの進捗が収益化の段階に至っていないことから、売上高及び利益は前回発表予想を下回る見込みとなりました。

以上の結果、連結売上高、連結営業利益、連結経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は前回発表予想を下回る見込みとなり、2023年3月期の連結業績予想を修正することといたしました。

(注) 上記予想は、本資料発表日現在における入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想値と異なる場合があります。

以 上